

ご挨拶

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当財団は引き続きコロナ禍で様々な制約を受けながらも、皆さまのお蔭をもちまして2022年度の事業活動を無事に終了いたしましたので、「Dia レポート 2022」をお届けいたします。

2022年度は新型コロナウイルスとの闘いの中、高齢者にもスマホを中心にICTが新しいコミュニケーションの手段としてかなり浸透したのではないのでしょうか。世相はウクライナ侵攻や物価高騰など暗い面もありましたが、スポーツではサッカーW杯の決勝トーナメント進出や侍ジャパンのWBC優勝等心躍る明るい話題もありました。

当財団は1993年の設立以来、民間研究機関として高齢社会における健康、経済、生きがい等に関する様々な調査・研究に取り組み、結果を広く社会に発信するとともに活動成果の普及に努めてまいりました。2023年6月18日に設立30周年を迎えることができましたのも、皆さまのご支援、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。今秋には設立30周年記念事業としてシンポジウムを開催する予定で準備を進めているところです。引き続き、行政・学会・産業界・民間諸団体並びに高齢者の方々との連携を強め、諸課題の解決に向けて実りある調査研究に努めてまいる所存です。本レポートは2022年度における当財団の活動実績をできるだけ分かりやすく皆さまにお知らせするものです。ご高覧いただければ幸いです。

皆さまにおかれましては、引き続き幅広いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、財団の諸活動につきまして、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。



理事長 石塚 博昭